

「夢」を味方に、「未来」を切り拓こう！

～無限の可能性への新たな「挑戦」～

1. 学校紹介

<創立>

昭和22年4月（本年創立64年目）

<生徒数>

1年生：137名

2年生：161名

3年生：149名

合計：447名（平成22年度）



（芦城中学校 校舎）

<教育目標>

～ 豊かな心と探求心を持つ「不撓不屈」の芦中生徒の育成 ～

<生徒信条>

なにごとに

①誠意をつくす

②熱意をもってする

③創意をこらす

④善意を持ってあたる

2. テーマ設定について

近年、キャリア教育が推進される中、本校に於いてもPTA活動として

1年学年委員会は「職場見学」

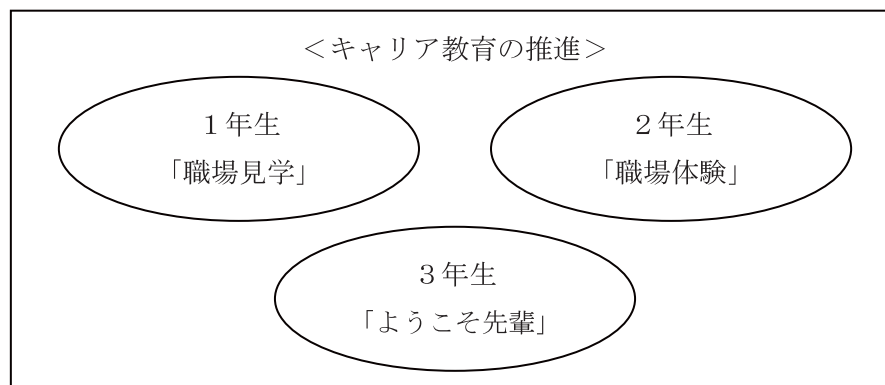
2年学年委員会は「職場体験」

3年学年委員会は「ようこそ先輩」

と1年生から3年生までの一連の流れの中で事業を構成し、長年にわたり事業を継続して参りました。

「自分の将来の夢は何なのか。」「将来何になりたいのか。」「どのような道に進めばいいのか。」などのヒントや答えが見つけられるよう生徒達へ多くの経験の場を提供し、少しでも参考になればという思いから、卒業生や地域の事業所の方と連携し取り組んで参りました。

今一度、これまでの一連の事業を振り返り、そして今以上の事業に成長させるため今回の研究発表を良い機会と捉え、本テーマを設定いたしました。



3、事業紹介

(1) 1年学年委員会「職場見学」

～見て聞いて感じ取ろう～

＜事業開始の年＞

平成16年（本年度7年目）

＜対象者＞

芦城中学1年生

＜事業目的＞

生徒たちに職場での仕事を直接見学させることにより、働く人のやりがいや仕事に対する思いを理解させる。また、将来の進路選択に対する心構えや知識を身につけさせる。

＜事業内容＞

芦城中学校周辺の各事業所へ出向き、仕事内容を説明していただきながら見学をする。

また、働くことの喜びや苦勞、厳しさなどについて職場でインタビューを実施する。

＜ご協力いただいた事業所の数＞

40事業所（平成21年度）

＜実施日＞

平成22年2月18日

＜事業の写真＞



エンド農園（種・苗栽培販売）



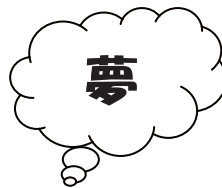
東洋スポーツクラブ BIG-S（スポーツクラブ）



ホテルサンルート小松（ホテル）



三ツ村クリーニング（クリーニング業）



（２）２年学年委員会「職場体験」

～汗を流し体験してみよう～

＜事業開始の年＞

平成１２年（本年度１１年目）

＜対象者＞

芦城中学２年生

＜事業目的＞

生徒が各事業所で職業を体験し職場の方々と交流する中で、勤労の尊さや望ましい職業観を学習する。また、中学生が自分の将来を見つめながら、集団や社会の中で自己を生かそうとする態度や能力を育む。

＜事業内容＞

夏休みの期間を利用して、芦城中学校周辺の各事業所において３日間程度職場で汗を流し、実際の仕事を体験してみる。

＜ご協力いただいた事業所の数＞

４６事業所（平成２１年度）

＜実施日＞

平成２１年７月２１日～８月２日までの期間

＜事業の写真＞



土中商事（ガソリンスタンド）



あおば保育園（保育園）



１００満ボルト小松本店（家電製品販売）



竹本農園（農業）

（３）３年学年委員会「ようこそ先輩」

～先輩から深く学ぼう～

＜事業開始の年＞

平成８年（本年度１５年目）

＜対象者＞

芦城中学３年生

＜事業目的＞

各分野で活躍されている卒業生の方々を講師として招聘し、中学生の時のこと、現在の仕事のこと等、今までの深い人生経験を語っていただき、生徒に生き方を考えさせると共に職業観や生きがい、将来の夢を持たせる。

＜事業内容＞

芦城中学校の卒業生の方を講師としてお招きし、各教室に分かれて約２時間程度、講義をしていただく。講義内容は講師の方にお任せし、実演や体験など様々で、卒業生ならではの楽しい話を聞くことができる。

＜ご協力いただいた先輩の人数＞

２５名（平成２１年度）

＜実施日＞

平成２１年７月８日

＜事業の写真＞



越栄信英さん（菓子職人）



濱本真光さん（フラワー装飾技能士）



藤田秀二さん（寿司職人）



竹田克彦さん（大工）



一松涼子さん（食品の商品開発）



高熊幸吉さん（自動車整備士）



石原綾乃さん（警察官）



荒井美帆さん（看護師）



（「ようこそ先輩」の事業でご協力いただいた卒業生・先生・保護者の皆さん）

4. 期待される効果

(1) 「意識づけ」

将来の夢について、中学1年生の早い段階から「意識づけ」させ、様々な分野に興味を持てるようになる。

(2) 「連動性」

1年・2年・3年と一連の事業として3年間にわたり実施し、将来の進路選択に向けた様々な体験の場を提供できる。

(3) 「継続性」

「職場見学」7年、「職場体験」11年、「ようこそ先輩」15年と3事業ともに長年継続しているおかげで、卒業生や各事業所の協力が得られやすくなってきている。

5. 今後の課題

(1) 生徒の第一希望の職場に行くことができるよう出来る限り考慮する。

(2) マンネリ化しないようにその時代にあった創意工夫をする。

(3) 10年後に自分の夢を実現できた生徒がどれだけいるか調査し、本事業の改善につなげる。

6. 最後に

PTA活動は、卒業生や各事業所の方をはじめとする地域の方・保護者・先生など大変多くの方にお世話になります。

無理なお願い事でも、快く引き受けていただけるのも次世代を担う子供たちのために少しでも何か役立てばという思いからではないでしょうか。

PTA活動に携わる皆様に常に感謝しながら、これからも家庭・学校・地域がさらに連携し、「子供たちのために何ができるのか」を常に考え行動し、より良いPTA活動を目指して参ります。